

Panasonic

アクティブディスプレイDVD/MDサウンドステーション



取扱説明書

品 番

CQ-DMR993D



MDLP

MP3



保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

1 DINにDVDプレーヤー・CD/MP3プレーヤー・MDプレーヤー・FM/AMチューナー・
CD/MDチェンジャーコントロール機能、高音質45 W×4 chパワーアンプを搭載

CD-R/RWディスク対応 ¹

「CD-R/RWディスクのご使用について」(50ページ)をよくお読みください。

MP3対応

本機でMP3ファイルを再生できるメディアは、CD (音楽用のCD-ROM、CD-R、CD-RWディスク) です。
「MP3ファイルについて」(30ページ)をよくお読みください。

MDLP (ロングプレイ) MDグループ機能に対応 ²

異なった録音モード (2倍長・4倍長・通常) の曲が混在しているディスクを再生できます。
グループ機能にも対応しているので、聞きたい曲 (グループ) をスピーディーに選べます。

漢字表示対応 ³、タイトルスクロール機能を搭載

CDテキスト ⁴ (ディスク名・曲名) MP3のフォルダ名・ファイル名、ID3 Tag (曲名・アーティスト名・
アルバム名) MDディスク名・曲名・グループ名 (MD時) MDディスク名・曲名 (MDチェンジャー接続時)
をスクロール表示できます。

フルドットの豊かな表現力 (3D ドットマトリックス・ディスプレイ)

滑らかで美しい14階調の表現により、多彩な3D グラフィックスパターンを楽しめます。
お好みで、7パターンの背景画面を選ぶことができます。(44ページ)

交通情報などをボタン一つで受信できる、ダイレクトメモリー機能を搭載(41ページ)

電源が切れているときも、どのモードからでも、ボタン一つで交通情報を受信できます。
また、お好きな放送局を記憶させることができます。

システムアップ用端子を装備

ツイン (CD/MD) チェンジャーコントロール機能 (37、63ページ)
ツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) を使用すれば、最大2台まで接続できます。

ナビミュート機能 (46、60ページ)
カーナビゲーションの音声案内中に本機の音声をミュートすることができます。

外部音声入力 (AUX-IN) 付き (40、60ページ)
テレビのステレオ音声などを聞くことができます。

光デジタル出力端子付き (64ページ)
デジタルサラウンドプロセッサを接続して、ドルビーデジタルの5.1chとdtsの5.1chサラウンドが
楽しめます。

外部アンプと接続できるプリアウト (フロント/リア) 端子付き (62ページ)

お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の種類です。(2003年3月現在)

CDチェンジャー : CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D

MDチェンジャー : CX-MD6D

1 : CDチェンジャーは、機種によってCD-Rを使用できないものがあります。

CD-RWおよびMP3/WMAには対応しておりません。

2 : MDチェンジャーは、MDLPおよびMDグループ機能に対応しておりません。

3 : MDチェンジャーは、タイトルを表示できますが、漢字/ひらがなを表示できません。

4 : CDチェンジャーは、タイトル (CDテキスト) を表示できません。

ご使用前に

特 長.....	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	7
再生できるディスクについて	8
付属品・添付品の確認と準備	9
各部のなまえとはたらき	10

使 う

基本操作	12
電源ON/OFF	12
ミュート/アッテネータ	12
音源 (ソース) の切替	12
音量調整	12
画面切替	12
ラジオを聞く	14
DVDビデオ/ビデオCDを見る	16
CDを聞く	22
MP3を聞く	26
MP3ファイルについて	30
MDを聞く	32
チェンジャーでCD/MDを聞く	36
他の機器の音声を聞く (AUX)	40
ダイレクトメモリーを使う	41

使いこなす

いろいろな設定と調整	42
音質調整	42
画面設定	44
機能設定	46
DVD設定	48

必要なときに

ディスクの取り扱いについて・お手入れのしかた	50
故障かな!?	52
取り付け・配線の前に	58
取り付けかた	59
配線のしかた	60
言語番号表	65
仕 様	66
アフターサービスについて	裏表紙

安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、
保安部品を絶対に使わない



禁止

保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12V⊖アース車で使用する



本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。
火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、
バッテリーの⊖端子を必ずはずす



バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

必ずお守りください



警告

故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障(画像が映らない・音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

リモコンを放置しない



禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。

コード類は、運転や乗り降りの
妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

電池は乳幼児の手の届かない
ところに保管する



事故の原因になります。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

MP3ファイル以外のファイルに、拡張子「.MP3」を付けない
<ファイル作成時>



禁止

MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



禁止

発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



禁止

手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。

コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない



禁止

特殊形状（ハート型・八角形・カード型など）のCDやプロテクトフィルム・スタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスクは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

⚠ 注意

電池は正しく使う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

指定の電池以外は使用しない。
⊕⊖を電池ケースの表示に合わせる。
使いきった電池は、すぐに交換する。
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。（ポリ袋に入れる、テープなどを巻く）
著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。
（窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど）

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

必ず、サイドブレーキコードを接続して使用してください。
走行中はDVDビデオ/ビデオCDの映像が出力されず、音声のみとなります。
また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は出力されません。（安全機能）

他の機器と接続する場合は

接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。
できるだけ本機から離してお使いください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが・故障の原因になる場合があります。

免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
商品に添付の保証書は、本製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

再生できるディスクについて

ディスク	マーク（ロゴ）	ディスクの大きさ	映像方式	音声方式	リージョン番号
DVDビデオ（DVD）		12 cm	NTSC	LPCM MPEG1/MPEG2 Dolby Digital	2 ALL
ビデオCD（VCD）				LPCM (CD-DA) MPEG1	
CD、CD TEXT				LPCM (CD-DA) MP3	

お願い WMA、MP3 PROには対応していません。

8 cmディスクは本機では再生できません。（シングルアダプターも使用できません）無理に挿入しないでください。故障の原因になります。

CD-R/RWについては、「CD-R/RWディスクのご使用について」をお読みください。（※50ページ）MP3は、CD-R/RWに書き込んだもののみ再生できます。「MP3ファイルについて」をお読みください。（※30ページ）DVDビデオ/ビデオCDは、ディスク側の制約により本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。ディスクのジャケットなどをお読みください。

お知らせ dts CD/dts DVDを再生しても正常な音声を再生できません。（デジタル音声のみ出力されます。）DVDのカラオケ機能には対応しておりません。

再生できないディスク

リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDビデオ

8 cmディスク NTSC以外の方式（PAL、SECAM方式など）で記録されたDVDビデオ

DVDオーディオ	DVD-ROM	DVD-RAM	DVD-R	DVD-RW	DVD+RW
CD-ROM（MP3を除く）		CD-RW（MP3、CD-DAを除く）		CD-R（MP3、CD-DAを除く）	
CD-G	VSD	CVD	CDV	SVCD	SACD
Divx Videoディスク		CD-EXTRA			

フォトCD（再生すると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります）

など

DVDに記載されているマークについて

リージョン番号

発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割りあてられた番号。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は、「2」です。

ディスクに「2」（2を含むもの）または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。

字幕言語数 音声言語数 アングル数

画面サイズ（横：縦の比）

4：3の標準サイズ

レターボックス

16：9のワイドサイズ

モニターの画面サイズが標準（4：3）のときは、レターボックスで再生されます。

モニターの画面サイズが標準（4：3）のときは、パン＆スキャンで再生されます。

モニターに映し出される映像のサイズは、画面比率の設定（※48ページ）とディスク側の画面サイズによって異なります。

付属品・添付品の確認と準備

付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、58ページをご覧ください。

リモコン 1個



パナソニック
リチウム電池
(CR2025) 1個

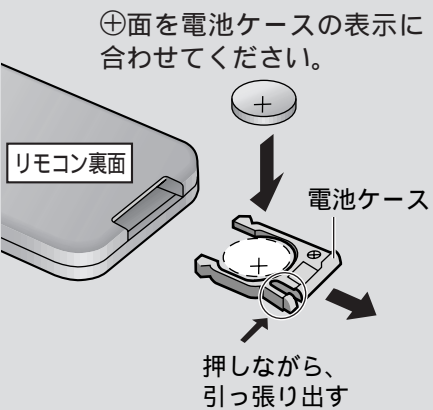


添付品

取扱説明書（本書）.....	1
保証書	1
お客様ご相談窓口一覧表	1

リモコンに電池を入れる

1 電池ケースを出して、電池をはめ込む



2 電池ケースを入れる
奥まで差し込んでください。

電池について
使用電池：
パナソニックリチウム電池（CR2025）

電池寿命：
通常の使用状態（常温時）で約6カ月

取り扱いの注意書き（※7ページ）を、よくお読みください。

ご使用前に
再生できるディスクについて／付属品・添付品の確認と準備

各部のなまえとはたらき

本体

ソース パワー
SOURCE、PWR
音源(ソース)を選ぶ
電源を入れる/切る

ミュート アッテネータ スーパー・ハイディフィニションパス
MUTE (ATT)、S・HDB
一時的に音量を下げる
(ミュート/アッテネータ)
低音域を増強する

ディマー
DIM
バックライトの明るさを選ぶ

セレクト
SEL
メニューを表示させる
音質調整の項目を選ぶ

オープン
OPEN
パネルを開ける

ディスプレイ
DISP
画面を切り替える
タイトルを表示させる

チューン トラック
TUNE < > / TRACK < >
周波数/チャプター/曲/ファイルを選ぶ
早戻し/早送りする
スロー再生する(▶▶のみ)
音質調整する
メニューを選ぶ
画面設定/機能設定の項目を切り替える

プリセット ディスク フォルダ
P・SET ▲ ▼ / DISC ▲ ▼、FOLDER ▲ ▼
放送局を記憶させる/呼び出す
ディスク/フォルダ/グループを選ぶ
再生メニューの項目を選ぶ
画面設定/機能設定の項目を選ぶ
時/分を調整する(時計調整時)

ポーズ/プレイ バンド セット オートプリセットメモリー
||/▶、BAND、SET / A P M

再生を一時停止する
(DVDビデオ/ビデオCD/CD/MP3/MDのみ)
再生する(DVDビデオ/ビデオCD/CD/MP3/MDのみ)
バンドを選ぶ
ランダム・スキャン・リピート再生のON/OFFを切り替える
画面設定/機能設定の項目を決定する
2台のチェンジャーを切り替える
タイトルをスクロールさせる
放送局を自動で探し、記憶させる

ボリューム
VOLUME
回す
音量を調整する

リモコン受光部
ダイレクトメモリー
D・M
交通情報などを受信する
ダイレクトメモリーに
放送局を記憶させる

後面の端子については、
「配線のしかた」をご覧ください。
(P.60ページ)

本体のパネル開口部

DVD/VCD/CD挿入口

DVD ▲ (イジェクト)
DVDビデオ/ビデオCD/
CDを取り出す

MD挿入口

MD ▲ (イジェクト)
MDを取り出す

リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

プレイ バンド
▶ (PLAY)、BAND
再生する(DVDビデオ/ビデオCD/CD/MP3/MDのみ)
バンドを選ぶ
2台のチェンジャーを切り替える
放送局を自動で探し、記憶させる

ポーズ
|| (PAUSE)
再生を一時停止する
(DVDビデオ/ビデオCD/CD/MP3/MDのみ)

ストップ
■ (STOP)
再生を止める

パワー ソース
PWR、SOURCE
電源を入れる/切る
音源(ソース)を選ぶ

トラック サーチ
◀▶ (TRACK/SEARCH)
周波数/チャプター/曲/
ファイルを選ぶ
早戻し/早送りする
スロー再生する(▶▶のみ)

メニュー タイトル
MENU、TITLE
DVD/VCD/タイトルメニューを
表示させる

リターン
RET (RETURN)
番号を入力しなおす
ひとつ前のディスク/タイトル
メニューに戻る
再生メニュー・各種設定画面を
終了する

オーエスデー
OSD (オンスクリーンディスプレイ)
OSDを表示させる

0 ~ 9 (10キー)
番号で選び、再生する
放送局を記憶させる/呼び出す.....「1 ~ 6」
字幕言語を切り替える(SUBTITLE).....「1」
音声言語を切り替える(AUDIO).....「2」
ビデオCDのステレオ/モノラルを切り替える(AUDIO).....「2」
角度(アングル)を切り替える(ANGLE).....「3」
順不同に聞く(RANDOM).....「4」
曲を探す(SCAN).....「5」
繰り返し聞く(REPEAT).....「6」
サウンドモード
少音量で聞くとときに臨場感を維持する(S・MODE).....「0」
[DRC(ダイナミックレンジコンプレッション)を切り替える]

エンター
▲ ▼ / ◀ ▶ / ENTER
(ジョイスティック)
DVD/VCD/
タイトルメニューの
項目を選ぶ
フォルダを選ぶ
(ダイレクト選択モード時)

周波数を選ぶ
表示を切り替える
音質調整する
メニューを選ぶ
画面設定/機能設定の
項目を切り替える

ディスク/フォルダ/
グループを選ぶ
再生メニューの項目を選ぶ
画面設定/機能設定の
項目を選ぶ
時/分を調整する
(時計調整時)

項目を決定する
ランダム・スキャン・リピート
再生のON/OFFを切り替える
タイトルをスクロール
させる

セレクト
SEL
メニューを表示させる
音質調整の項目を選ぶ

ボリューム
VOL ▲ ▼
音量を調整する

ミュート アッテネータ
MUTE (ATT)、
スーパー・ハイディフィニションパス
(S・HDB)
一時的に音量を下げる
(ミュート/アッテネータ)
低音域を増強する

グループ タイトル チャプター
GRP (TITLE/CHAPTER)
ダイレクト選択モードにする

ご使用前に

各部のなまえとはたらき